



発行・北谷町議会 編集・議会広報特別委員会

ちやたん町

議会だより



あなたと議会のパイプ役

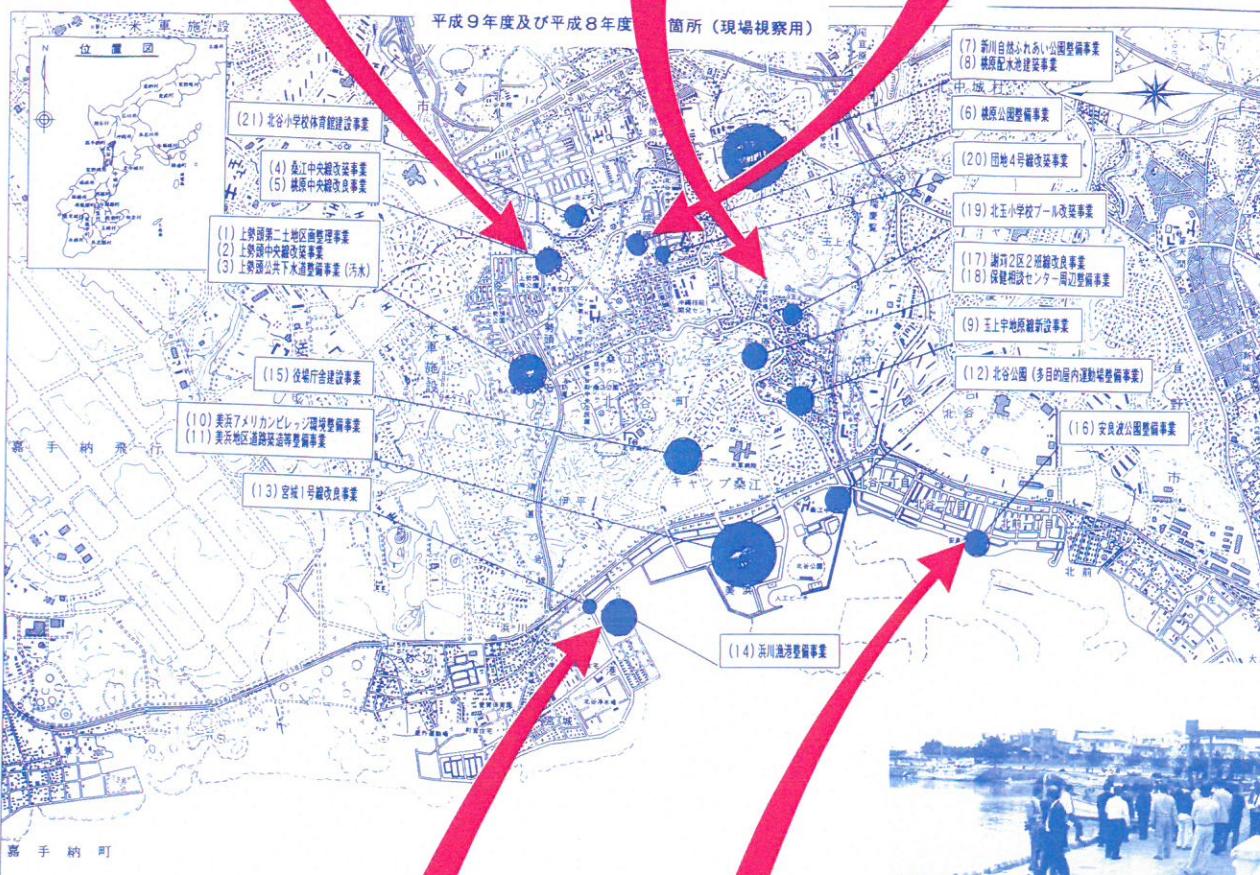
- 一般会計予算、特別会計予算……… 2 P
- 新年度事業ヶ所など現場視察……… 3 P
- 職員定数の改正で 6 人増員……… 4 P
- 町漁協が訴えを取り下げ……… 5 P
- 美浜埋め立て地の処分を変更……… 5 P
- 町三役や議員の報酬を引き上げ…… 8 P

10号
'97 3月議会

あなたの声を町政に

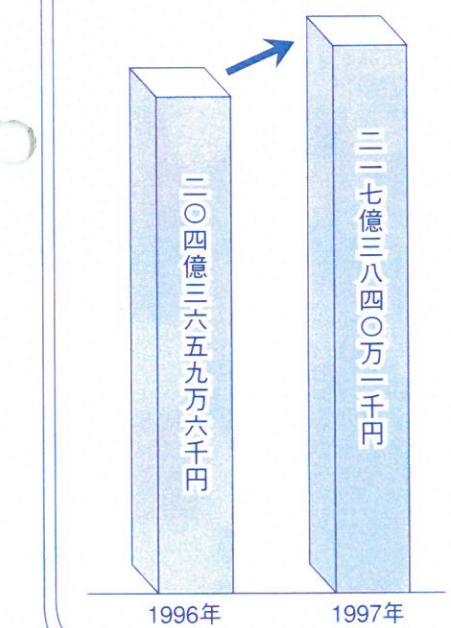
96~97年度事業で 主な現場を視察

多目的屋内運動場(北谷公園内)の新規事業や、上勢頭の区画整理事業など、21ヶ所の現場を町当局と議員全員で視察。それぞれの担当課長から事業内容の説明を受け、継続事業や、新規事業など順調にすすめられているか。町民の要求に応えられているかなど、現場で活発に質問が交わされました。



97年度
予算総額
217億円

前年比で13億円の増 (6.4%)



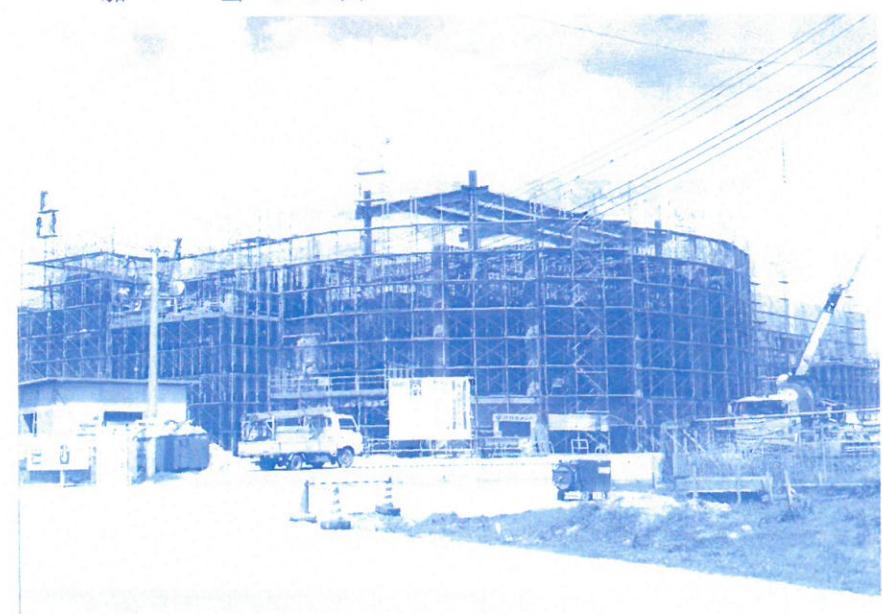
町の九十七年度一般会計予算の総額は、前年度より約四億五千万円(二・八%)増えて百八十六億四千万円となりました。国民健康保険などの特別会計や水道会計などを含めると二一七億円になり、前年度比では十三億円(六・四%)増で、町民一人当たりでは六十九万円の予算となります。一方では大型の新規事業が増え、人件費などの義務的経費や、公債費なども増加しています。

町民一人当たり

69
万円:

予算編成にあたっては「歳入で、增收の努力とともに使用料、手数料等の適正化を図り、歳出では経費の徹底的な洗い直しと節減で、前年度の一〇%減を原則」として、食糧費なども前年度実績の三〇%減。職員等の旅費も半分程

度で調整したとの当局説明。そのなかで人件費は二二億三千円で九五〇〇万円増加。公債費は、八億三千七十四万九千円で一億四千万円(二〇・一%)の増となっています。



経費の洗い直しと節減

* 九七年三月議会は三月十日から三十一日までの二十二日間の日程で開かれました。一般会計予算、上・下水道などの特別会計予算や、町職員の定数条例、議員など特別職の報酬改定など三十議案が審議されました。その要旨を紹介します。



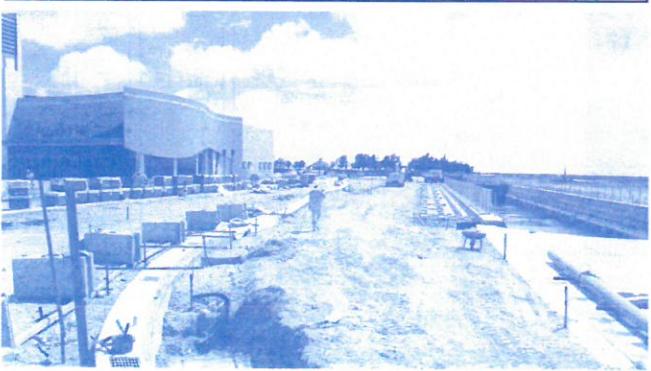
美浜アメリカンビレッジを整備

美浜のシンボルロードとして既存の道路を幅員30m、長さ226mで整備されることになりました。

契約金額：206,850,000円

契約の相手方：旭建設株式会社

工期：1997年8月1日まで



不動産の処分の変更は、サザンクロスフィルム(株)、(株)ベルフランセ及びコスマエンタープライズ(株)との土地売買契約の解除等にともない、処分する土地、面積、処分金額の変更が提案されました。全会一致で採択されました。

美浜埋立地の処分を変更

損害賠償事件での和解、土地の交換で議案を撤回
訴えを取り下げ

町が被告となつてある損害賠償事件で、原告の町漁協組合から訴えを取り下げるということがあり、それとともに町も「和解」と「不動産の交換」についての議案の撤回を議会に申し出ました。この二つの議案は漁協用地の一部と、宮城県営住宅前にある町の土地を交換し、差額の約2億円を現金で分割払うとするというものでした。総務委員会で一年にわたり審査されてきた議案ですが、全会一致で撤回が了承されました。

町職員を6名増やす 376人から382人に

反対討論

これからの北谷町を考えた場合には職員の定数も、押さえるところは押さえる必要がある。定数の増をやってから事務改善をやるのではなく、行政診断もさせて今の役場の置かれている状況をつかみ、全体的な事務も事務改善委員会を機能させ、事務改善委員会の方で検討していく必要がある。

財政がきびしくなっているときは、内部努力はやっていかないとならない。消防は町民の生命財産にかかることがあるが、町長部局の方は事務改善委員会が機能し、総体的な検討を加えてからやっても遅くはないと考える。

賛成討論

機構改革や新庁舎への移転準備などで事務量の増加は図り知れないものがあり増員を図る必要がある。今回の増員は住民サービスに直結し町民福祉につながるものである。

平成7年度の決算収支の状況でみても、西原町との比較では西原町が80億、北谷町が124億と、45億ぐらいの予算規模の相違があり約1.5倍ぐらいの事務量。

人口増と、そのニーズに応じた職員定数の増に対する人事管理業務も増加していることは明らか。町財政は厳しいなかでの職員増ではあるが、町民サービスを第1に考えると6名の増は、必要最小限の数。

新庁舎の請負契約を変更

庁舎の新築工事で、杭(パイ)の延長が必要となつたため、工事請負契約の変更が行われました。

当初契約額：1,882,840,000円
増額額：74,529,000円
契約相手方：旭建設(株)
(株)町田組
崎原土建(株)
(有)清武建設
(有)渡久地組 建設工事共同企業体

町職員の定数条例が改正され、消防職員や事務職員を六名増員し、定数が二七六人から二八二人になりました。総務委員会に議案が付託され、委員会では全会一致で原案の通り可決されました。本会議では修正案が五名によつて提出されました。それぞれ賛・否の討論のうち採決が行われ、賛成多数で

原案のとおり可決されました。
西原町と職員数、財政などを比較
修正案では職員定数、行財政状況等を西原町との比較をのべて、消防職員の二名のみを増員し、事務職員など四人は増やさないようにするということが提案されました。



修正案ができるが否決され 賛成多数で原案可決

医療費の負担増に反対し、 2兆円減税を求める意見書

いま、国民の暮らしと商工業者の営業は、長期の不況のもとで深刻な事態に陥っている。

ところが政府は、来年度予算の中で消費税増税5兆円、特別減税打ち切り2兆円、医療保険の「改悪」2兆円、あわせて9兆円の新たな負担を国民に求めようとしている。これは国民一人当たり、年間7万5千円にもなるものであり、この時期に9兆円もの国民負担増を強行することは、個人消費と景気をさらに「底冷え」させることは明白である。

医療保険の「改正」では、健康保険本人の自己負担を1割から2割への引き上げなど、特に高齢者の受けける影響は深刻で、薬価負担もあわせれば3倍近い負担増となる内容となっている。

将来的にも医療保険財政の安定を図り、安心して医療が受けられるためには薬価基準の見直し等をすすめるとともに、これまで削減されてきた国庫負担を着実に増やしていくべきである。

また、所得税・住民税あわせて2兆円の特別減税の廃止は、中間所得層に大きな打撃となるものであり、消費税増税とともに町民生活にも一層重い負担となるものである。

よって、北谷町議会は、医療費の負担増に反対し、ひきつき個人所得税・住民税の2兆円減税を97年度においても実施するよう強く要望する。

1997年3月31日

「沖縄県立看護大学」についての意見書

「看護婦増やせ」の国民的な世論の広がりのなかで1992年(平成4年)「看護婦等人材確保に関する法律」とそれにもとづく「基本指針」が制定されました。4年たった今日、関係者の尽力で看護婦(士)の養成・確保、待遇改善は、一定前進したものの沖縄県の看護婦不足は依然として解決されてなく、看護労働者と患者・地域住民に犠牲を強いています。「高齢化社会」の急速な進行のもとで看護婦(士)の養成・確保は引き続き国民的な緊急課題であります。

ところが、懸念されることに沖縄県は現在の県立看護学校(那覇市与儀)の校舎・敷地を転用し県立看護大学(仮称)を設立する「基本計画」をまとめ発表しました。看護婦の専門知識・技術や地位の向上などのために看護大学は必要でありますが、問題なのは、①「計画」が、「県立沖縄看護学校の施設を転用して開学する」として、現存の県立看護学校を「廃校」にするということ、②大学は、定員が80人(助産婦・保健婦を含めて)で現在の県立看護学校は定員180人(それ以外に助産婦・保健婦各20名養成のための「学科」を併設している)となっており、その差は今後の看護婦養成・確保に支障をきたす、③県立沖縄看護学校に併設されている1年課程の「助産学科」・「保健学科」は就業看護婦が休職し進学できるようになっているが、大学には、編入制度がなく、就業看護婦の「助産婦」・「保健婦」資格取得の道が大きく制約されることになる、④県立沖縄看護学校を「廃校」すると、県内唯一の公立の「レギュラーコース」(高校卒以上で3年課程)の養成学校がなくなり、民間のみとなり、「レギュラーコース」希望の看護学生の進路が狭められるとともに経済的負担が大きくなる、ということなどがあります。

こうした立場から、次の措置が講じられるよう要望するものです。

記

- 「県立看護大学」設立にあたっては、現在の「県立看護学校」を「廃校」にしないこと。
- 「計画」では、「編入制度」を将来検討することになっているが、就業看護婦でも編入ができるような措置を講じること。

1997年3月31日

キャンプ瑞慶覧米軍基地における P C Bによる環境汚染に対する抗議決議

去る2月20日、北谷町のキャンプ瑞慶覧基地においてP C Bが検出されたと米軍から町に報告があった。

検出されたP C Bは環境基準値の約7万倍にもあたるもので、瑞慶覧基地に隣接する民間地域の排水溝から検出されたことに、町民は大きな衝撃と不安を覚える同時に、許し難い怒りをもつて今回の事件を受け止めている。

P C Bは人体に重大な影響を与えるため、日本ではカネミ油症事件以後1972年に製造・使用が禁止され、分解処理も困難なため特別管理産業廃棄物に指定、厳重な管理が必要とされている。また、アメリカでも「土壤や地下水などの浄化を義務づける法」が制定され、厳しい取り扱いが求められているものである。

しかし、「検出されたP C Bの数値が非常に微量で、安全」という米軍報告は、今なお、占領意識まるだしで、環境問題に対する認識の甘さを示すものとして、厳しく指摘されなければならない。

5年前にも嘉手納基地内でP C Bによる環境汚染問題が起きて大問題になったところであるが、今回の汚染事件も、いかに沖縄が米軍基地により長年にわたって環境汚染されているかを示すものである。

このようなP C Bによる汚染が基地内だけでなく民間地域にまで広がっていることを、日本政府と米軍は深刻に受け止めるべきである。

よって北谷町議会は、町民の生命を守り、環境保護の立場から米軍によるP C B汚染事故に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項を速やかに行うよう強く要求する。

記

1. 汚染区域の徹底した環境調査と、一切の汚染物質の即時撤去。
1. 全ての基地の環境調査を行い全て公表すること。
1. キャンプ瑞慶覧基地に常駐する海兵隊は撤退すること。

北谷町・嘉手納町共有地
(嘉手納町字久得) 分割図

資料 1



● 町有地(久得山)の一部を処分

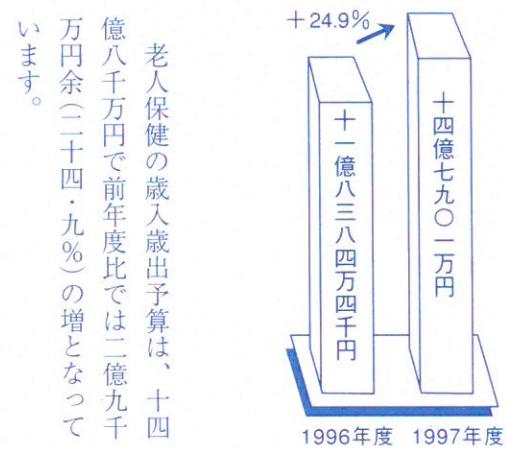
謝苅2区2班線の道路改良事業で、用地確保のために代替用地として久得山(町有地)の処分をすることになりました。

処分不動産：嘉手納町字久得平山原298番2
5,267 m²

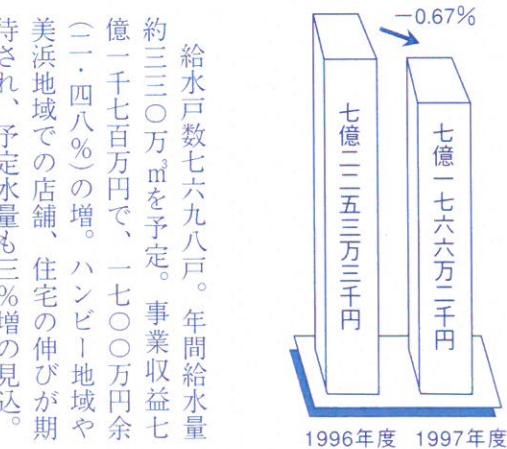
処分金額：66,890,000円

97年度特別会計予算(当初予算化)

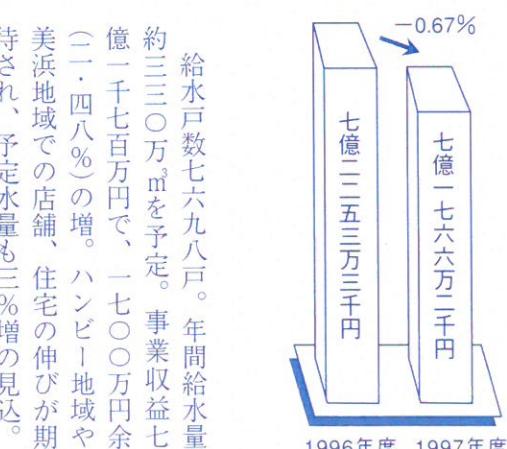
老人保健



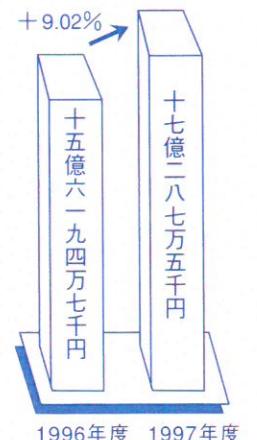
水道事業



下水道事業



歳入歳出の予算総額は十七億円余で、前年度比で一億四千万円(九・〇二%)の伸び。一人当たりの受診件数、一件あたりの医療費が高くなり、保険給付が増えたのが主な原因。



慶覧基地からの徴収が予定されることにより、財源として歳入扱いされたことから、使用料は二億八千四百万余(前年度比四六%増)を計上。一般会計からの繰り入れなどは減額。下水道使用量は、嘉手納基地や瑞慶覧基地からの徴収が予定されることが、消費税の転嫁が行われたことにより、財源として歳入扱いされたことから、使用料は二億八千四百万余(前年度比四六%増)を計上。一般会計からの繰り入れなどは減額。

答 現地重視で、いざなぎ外郭の団体で、工場の敷地とか建物を造成して、一定の組合へ施設を譲渡して、地域で住宅と工場が混在している地域の公害問題を解決する制度があり、同制度の利活用について設置する地域の位置関係も含めて検討中。



対処していきたい。
宮城海岸の高潮対策について、台風や高潮の際には波が護岸を乗り越えてくる、関係課と協議した事を答弁いただきたい。
美しい自然が残る貴重な海域であり、ダイビングスポットとしても利用者が多く、自然を活かした護岸の設置及び消波対策については今後継続して検討していく。
精神障害者の福祉施策について、精神障害保

玉城政秀議員

- ① 施政方針について
- ② 宮城海岸の高潮対策について
- ③ 精神障害福祉対策について

問 を推進するには、電算室の職員と各部署でパソコンを専門的にやっている方々と連携していくたい」との答弁があ

問 「センターの電子計算機とパソコンとのネットワークについては、現状を把握して解決したい」との答弁があつたが、現在の取組み状況について伺いたい。

答 油水分離槽排水管の沈殿物、国道五八号線の排水溝の土壤等、その周辺を採取した結果、全てのサンプルからP.C.B.は検出されていない。魚貝類等の影響は現在の影響について伺いたい。

稻嶺盛仁議員

- ① キヤンプ瑞慶覧米基地におけるP C B 環境汚染による周辺地域住環境への影響調査について
- ② 行政事務改善と町民との情報のやりとりを目的とした新庁舎インターネットの構築について

問 昭和六二年から現在に至るまで、美浜埋立地に支払った利息、借り換えに要した事務費、その他項目毎の諸経費について伺いたい。

答 公社への支払い利息、約二七億一千万円、開発公社事務費、三億八千万円を始め、その他、総経費として約三七億五千万円を支出。

問 浜川ロッジ、ピザハウスの前での変則道路の改良事業進捗状況について伺いたい。

答 平成七年度で実施設計を完了。九年度以降に環境調査の実施、用地取得、事業費の確保など整備期間を要することから継続事業を考えている。



新城幸男議員

- ① 桑江地先公有水面埋立造成事業に関する契約の変更について
- ② バス停の見直しについて
- ③ 町内建築等中小業者の育成とその対策について
- ④ 漁港整備対策と理活用について

答 民生課の方が窓口になりますり障害者計画の策定に取り掛かっている。県と連携を取りながら、事業の充実を図っていく。

健行政はどんな支援を考
えているか。又、家族の生活相
談の取り組みと、援助対策は
どうなっているか。

家族や地域の力がかりの日
し出により民生課あるいは閨
連機関と連携を取りながら課
題の解決に努めている。中部
地区精神療養者家族会、野菊
の会があり、五万円の補助を
出している。精神保健に関し
ては基本的には、会復帰支援
の事業を進めている。

問 選挙管理委員会の職員が兼務も関わらず、人事異動により員が配置されていたにしているが、監査制度を強化する改革案に反するのではないか。

問 成九年度の早い時期に制定していただきたい。

浜川漁港の位置変更を前提にフィッシュヤリーナ構想を見直し、漁業と海洋性レクリエーションが共存で

監査委員の職務権限が
更に拡大されていく中、
地方自治法が期待する行財政
の監査に対し、非常勤監査体制で十分な行財政の監査ができるとお考えか。

監査制度の運用に当たっては、識見を有するもの一人及び議員一人が選ばれ、本来の監査を実施していく。当分の間は現行の監査制度で充分に対応できる。

監査委員の補助職員の配置をやつていきたい。

開かれた行政、公正な行政の確保のために緊急に情報公開条例、個人情報保護条例を制定すべきではないか。

新庁舎移転に向けて条件整備を備えて情報公開制度の導入を図っていく。個人情報の保護条例は平成九年度の行政機構の見直しとあわせて、

安里順一議員

- ① 監査機能の強化について
- ② 情報公開条例の制定及び個人情報保護条例の制定について
- ③ 美浜川漁港、フィッシュシャリーナ構想の見直しについて

成員は大切。今後、情報化計画が全局的業務の重要性に鑑み、慎重に検討していく。

問 事務近代化検討委員会の機能について伺いたい。

答 の果たした役割、現在の機能について伺いたい。

OA化の課題は、全職員がパソコンに取組む体制づくりをするため、事務改善委

問 町民との情報を目的とした新庁舎インターをツトへの対応も成し得るのか。

答 ネットワーク化についてはハッカーやコンピュータウイルスのこともあり、秘密保持の面で危険性があり、それに対応する保護機能を検討し導入していく。

各 育成を図るために優先的な指名及び分離発注等を行つてゐる。

問 漁港を埋立てリーフの外で漁港の新設とヨットハーバ整備して有効利用していく考えはないか。

答 現漁港を大幅に位置変更していく考えはない。

問 県企業局の淡水化事業での濃縮海水を特産品として漁協組合と商工会で塩の製造をして第一次産業の発展につなげる考えはないか。

答 地域問題懇談会の中で製品の商品化研究会をスタートすることになつて、濃縮塩分を利活用した塩等が使えるか検討したい。

問 西海岸道路の進捗状況はどのようになつていいか。

答 ルート決定については、陸上、海上案とも長所短所があり決めかねている状況。

問 北前よりリージョンクラブ向け道路の共同使用について進捗状況を伺いたい。

答 米軍施設の中で共同使用や国道西海岸線ルート決定等の協議が必要。

問 町内の建築関連業者について、町内の中小企業者の育成について伺いたい。

現漁港施
設の一部
土地の買
い取りの
必要性は
なくなる。

に、現在の土地が、漁港の区域外にならるという点と、位置変更された新規の漁港の施設整備が充足されるというような条件整備があれば

答 今後の大幅な位置変更というのは困難。現構想にこだわることなく、住民ニーズ等も充分に把握しながら検討を重ね、ファイツシャリーナ計画の展開について推進していく必要がある。

問 浜川漁港を位置変更することによって、漁業協同組合が所有する漁港施設用地の一部を買い取る必要性がなくなり、同組合から提訴されている損害賠償請求事件による土地交換の問題が一挙に解決されると考えるが。



砂辺貝塚も文化財が埋
蔵されていたというこ
とで文化財担当の方で調査、
発掘もなされているが、そ
ういう大事なところも環境整備

公園化をして町民全体、県民が海に親しむ、環境づくり、住環境整備をやっていた
だきたい。

宮平昌信議員

- ① 砂辺の馬場公園の美化整備について
- ② 砂辺貝塚公園美化整備について
- ③ 砂辺〇番地のP C B問題について



問 財産を処分して事業を行ふ計画であるのか、他に財源確保、国、県補助の計画は立てられないか。

答 補助や双方売買で運用をやつてゐる。売る側も祖先代々の引き継がれた財産は大事にしたいので、双方売買なら協力したいという意向あり、事業を遂行していく上からは、万やむを得ずそういった手法もとつてゐる。

問 町有財産の処分だけをあてに諸々の事業を行

比嘉昌信議員

- (1) 町有財産(土地)の管理について
- (2) 北谷町の行財政改革について
- (3) 平成九年度町長施政方針について



問 玉上宇地原線線とナガリ線の進捗状況について伺いたい。

田場健儀議員

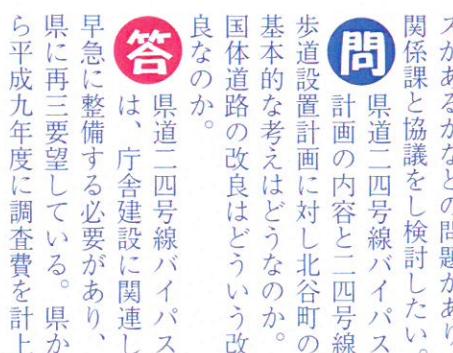
付けがなされ改善に向けて作業を進めていた。砂辺の一番北側の海上に車の解体場があり、徹底的に調査し、その改善策、なければ最終手段として一定の方向性を考えなければいけないが、調査の状況を説明いただきたい。



答　るが今後のとり組みについていては在宅福祉を強化していくこうと体制づくりをやつて来た。まずホームヘルプ事業、デイサービス事業、シヨートステイ事業を強化していく、老人福祉法、老人保健法の改正に基づいて高齢者保健福祉計画を作り現在その推進に努めている。新しい事業として緊急通報システムの導入を九年から取り組みたいたい児童福祉については特別保育事業として、一時間延長型の保育を実施し乳幼児健康、支援サービス事業も同時にスタートの予定。

伊集守明議員

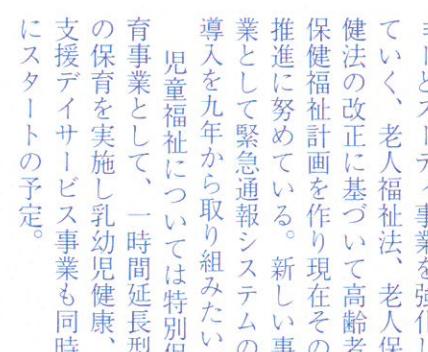
- ① 施政方針の中から時代の要請に応える保健、福祉施策の推進と取り組みについて
- ② 行財政改革について
- ③ 教育行政について



移転補償、九二%。借家人補償、一〇〇%。墳墓の移転補償、十八%の進捗目標を掲げている
ナポリ線については、道路拡幅に伴い建物の移転補償後
残地に再度建物を建てるスペー

ついて 整備について

答 環境保全課 保健所の職員、役場から担当課長と係長で現場調査に行つた。解体されたエンジン二〇基ぐらいを高圧水流で洗浄しており、洗浄されたオイルは、海の手前で消えており、是非改善するよう県の職員からも十分指導している。



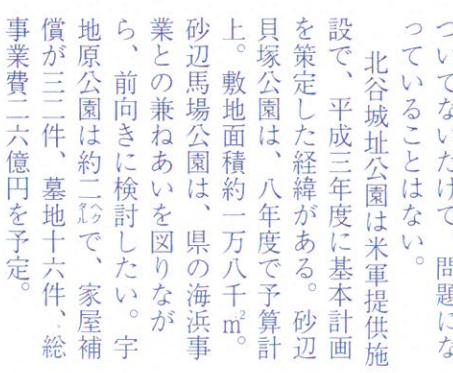
然文化に誇りを持ち連帯と強調のもとに行動する英知と創造性に満ちた国際性豊かな人間の育成。

北谷小学校の校舎建築は基本設計が終り、平成九年度に併行防音設計、補正予算で認められれば平成十一年までに建築完了の予定、北玉小学校の校舎は十三年で建築終了の計画を立てている。

青少年の健全育成のため調査研究、啓蒙活動、校外指導、地域環境の浄化、育成部の育成強化、交通事故、水難事故防止、関係者の表彰、図書館建設については後期基本計画の中に位置づけて検討している。

ら時代の要請に応える保健、
進と取り組みについて
ついて
いて

平成九年度の教育方針
はどのように計画策定
し推進なされるか。町内各小
中学校及び各幼稚園の校舎及
び園舎の建築、青少年の健全
育成と図書館の早期建設のと
りくみは。



園、砂辺馬場公園、宇地原公園の調査や基本計画、年次計画はどのようになっているか。

後、区画整理事業の機会に宮城一号線に接続する方法を考えている。

通渋滞が発生しやすく、好みたくない方法で国道五八号線に接続されていることから、検討したい旨の回答を頂いている。県道二四号線について、中部土木事務所が整備計画を作成したので説明会を受けた後、検討したい。

① 町有財産(土地)の管理について
② 北谷町の行財政改革について
③ 平成九年度町長施政方針について

問 今後の公園整備計画についての裏付はどうなつてあるか。新川墓地公園についての資金計画と裏付はどうなつてあるか。

園は面積が〇・七二^{ヘクタール}で、八
年度で一億七八万七千円で一
千五八八・四^{ヘクタール}を取得。上熱
桑江公園は公園面積で〇・五
六^{ヘクタール}と、総事業で五億七千五
円、八年度から十三年度で完
了したい。補助率のいいメニ
ユ一を選んで事業は進めてい
る。

行政改革は国、県内各市町村においても避けられない重要な課題。行政運営において今後の計画はどう推進されるか。



さらに親しみのもてる「議会だより」に

●おかげさまで「議会だより」も第一〇号を発刊することができました。



編集委員会は八名で構成され、各会派から参加。編集については一任され、公正不偏な編集に努めているということでした。

一般質問については、七十六

回の議会だよりで、北谷町議会では議員の写真掲載がされていて、北谷町でも検討する必要があるのではないかと思いました。

おどろいたのは定例議会後

の一ヶ月以内には発刊している事。「議会だより」の発行に大きな努力を払っていることが感じ取れました。同じく茨城県の岩瀬町でも

●おかげさまで「議会だより」も第一〇号を発刊することができました。

議会広報委員会では、この研修で学んだことを、さらに読みやすく町民の期待にこたえる「議会だより」にいかしていきたいと思います。

議会広報委員会では、この研修で学んだことを、さらに読みやすく町民の期待にこたえる「議会だより」にいかしていきたいと思います。

たいへんだけど やりがいがあります

議会広報調査特別委員会は、四月二十一日～二十三日までの三日間の日程で、「議会だより」を議員だけで編集発行している埼玉県、茨城県で視察研修をおこないました。

埼玉県吹上町の議会だよりは、昭和四五年一月に創刊され、現在第七五号まで発行さ

瑞穂町・岩瀬町で研修

(埼玉県)

(茨城県)

議会広報調査特別委員会は、

れ紙面も、落ち着きを感じられます。

「楽しく読んで、わかりやすい議会だより」をキヤッチフレーズに、町民から親しんでもらえる紙面づくりを中心がけていているとのことでし

た。



編集後記

議会だよりも平成九年度三

月定例会で十号を発行する事ができました。

編集は「わかりやすく、内容をダイエット」を基本にすすめきましたが、編集に入るとページ数は予定よりふくら上がる一方です。そのため、「議会だより」では、できるだけ尊敬語を使わずに、簡潔に編集をおこなうようにしています。

特に各議員の一般質問に関しては、答弁を含め四五分のやりとりを、紙面の都合から内容を八百字以内におさめなければならぬのでいちばん大変です。

また、毎回掲載される内容にあつた写真スナップ撮影や選考も一苦労です。

また、毎回掲載される内容にあつた写真スナップ撮影や選考も一苦労です。

町民、各議員の御協力により、ここに十号まで発行することができます。これを委員一同感謝致します。(玉)

